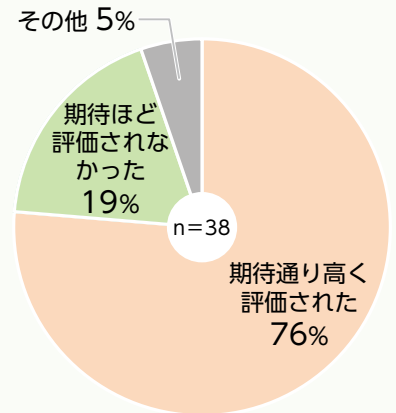




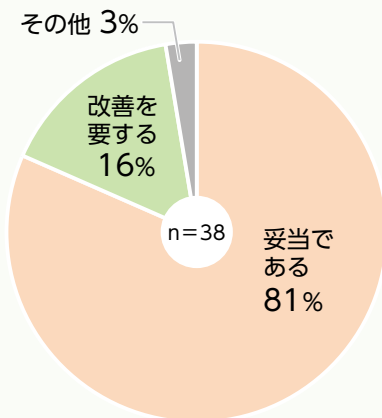
## ファイナリストの声

### 貴団体がファイナリスト賞を受賞したことへの周囲の反応は

- ・改めて取組みを評価され、事業推進に役立ちました。会社の信用度も上がったと感じました。
- ・全国からの約2000件の応募の中から選ばれたことは高く評価していただきました。
- ・期待以上に評価されました。
- ・学校からは今年も大臣賞を狙ってくださいねと応援されました。
- ・団体及び活動の認知度に加え、低炭素杯自体の認知度がまだまだなのか、反応は薄かったです。(評価はされたが)
- ・地元新聞社から取材がありました。



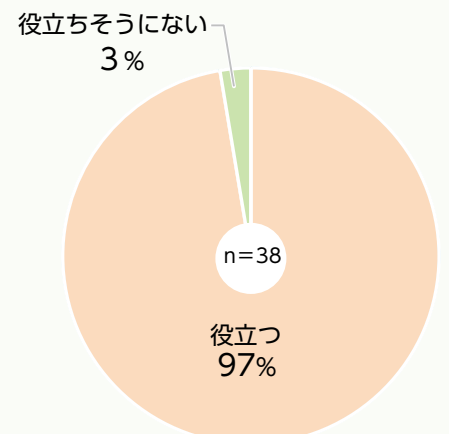
### プレゼンの演出ルールについては(時間、音楽、会場の規約など)



- ・4分は短いように見えて長い適切な時間でいろいろな人の発表が聞けました。
- ・4分のベルは気持ちが焦るため、ないほうが良いと感じました。
- ・初めてだったのでイメージがわかなかったがよいルールだと思います。
- ・4分という時間は、ちょうど良い絶妙な長さだと思います。
- ・最初にオリエンテーションがあったので、舞台確認のポイントがわかりやすかったです。
- ・4分の使い方は、それぞれのグループが工夫されており、見ている方も勉強になりました。

### 今回の低炭素杯の出場は、貴団体の今後役に立ちますか

- ・参考になる活動も多く、また、全国舞台へ出場できたことでアピールポイントとすることができると感じます。
- ・素晴らしい賞を頂けたので、自信を持って、目一杯、取り組みをアピールしていきたいです。
- ・低炭素社会の実現に向けたネットワークの広がりが実感できました。このつながりを大事にして参ります。
- ・熱心な他団体の活動が、今後の活動の刺激になります。
- ・地域でも話題になっています。
- ・経験したことのないことばかりで、生徒たちは良い勉強になったと思います。

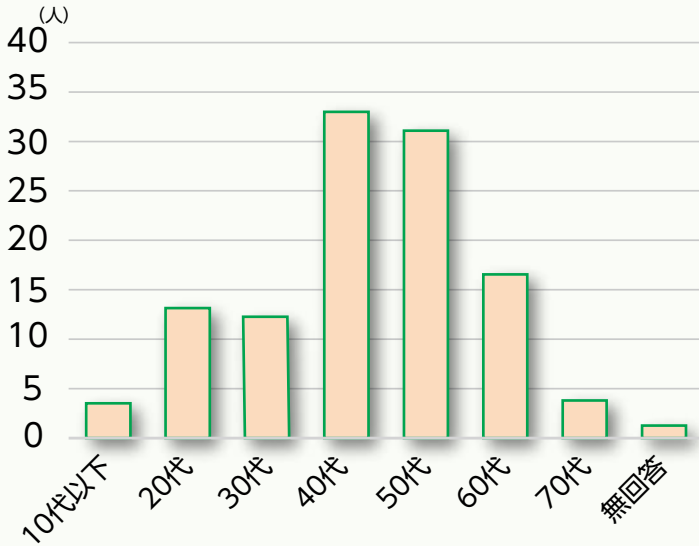


アンケートより一部抜粋

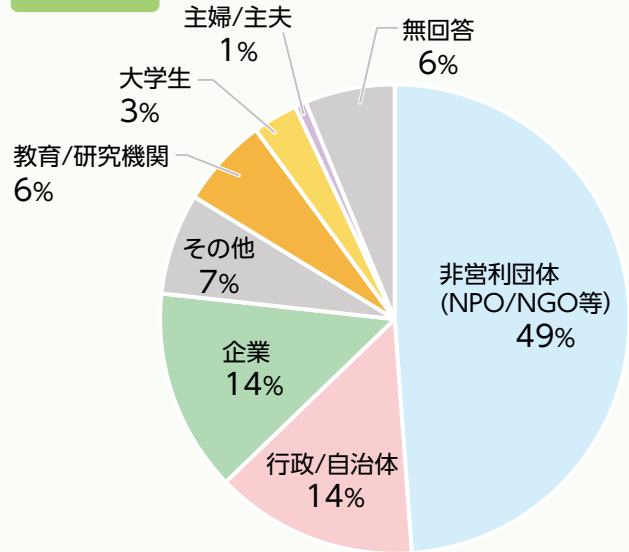


# 来場者の声

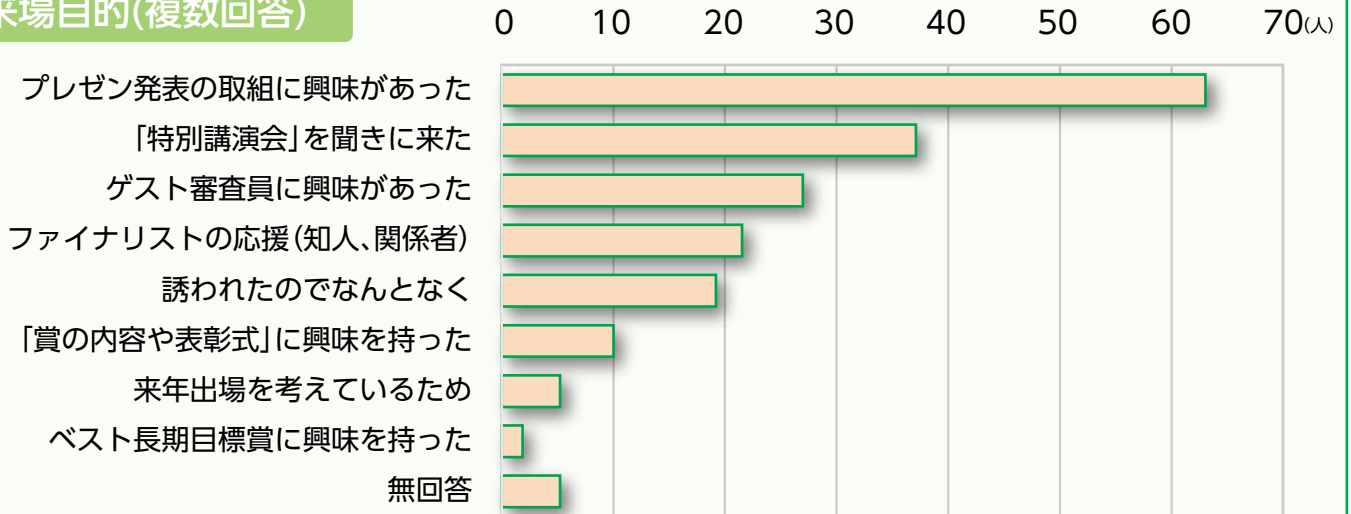
## 年代



## 属性



## 来場目的(複数回答)



## 感想

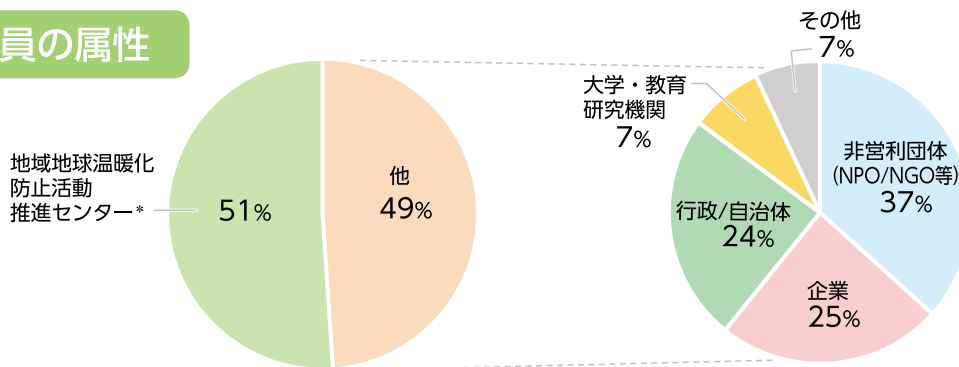
- ・プレゼン時間4分でどれだけの内容を説明できるのか疑問だったが参加者(ファイナリスト)各位が知恵をだし工夫し多くの団体・企業とも素晴らしかった。
- ・2日間の開催は午前中を活用できるので良い。講演会色々学ばせていただきました。木原木材のお土産嬉しいです！
- ・初めて参加させて頂きましたが企業、自治体、市民、学生ですでにこのようなCO2削減の取組をされている事を知り社会全体に低炭素化へのニーズが根付いている事を強く実感する事ができました。
- ・前年会場より利便性がよかったです。ただ、審査員に女性が少なく、割合を半数に近づけることをお願い致します。
- ・ありがとうございました。素晴らしいプレゼンでした。刺激になりました。

アンケートより一部抜粋



# ゲスト審査員の声

## ゲスト審査員の属性



\*「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、各都道府県知事や政令指定都市等市長によって指定されたセンターです。地球温暖化防止に関する啓発・広報、活動支援、相談、調査・研究、情報提供等を業務としています。

## 100人のゲスト審査員と全国の視聴者が選んだ「オーディエンス賞」！

より多くの方に全国のトップランナーの取組を見ていただき、観客の視点から低炭素な取組を評価していただくこと、温暖化対策に関わる専門家や従事者の方々100名に「ゲスト審査員」となっていただきました。

※ゲスト審査員は中学生以上

(審査方法)

- ・100名のゲスト審査員が2月16日(火) 13:00～17:00のファイナリスト全38団体のプレゼンテーションを全て見て審査。
- ・全プレゼンテーションから、“低炭素活動”として最も感銘を受けた取組2団体へ投票。
- ・当日19:00～プレゼンテーション動画をネット配信、翌日8:00迄の視聴回数に応じた審査ポイントを加算。
- ・得票数上位2団体にオーディエンス賞を授与。

## 感想

- ・2つは難しい！せめて3つに！みんな素晴らしくて！
- ・面白かったです。ありがとうございました。
- ・昨年に比べ、バイオマス関連の発表がずいぶん充実していて、とても頼もしく感じました。
- ・参加させて頂き、誠にありがとうございました。来年度は参加者になればいいなと思いました。
- ・時間の都合上困難かと思いますが、質疑応答の機会があるといいと思います。Webなどを活用してそのような仕組みはつくれないでしょうか。
- ・中学校と大学の参加が少ないのが残念です。関係団体等へのさらなる周知や連携が必要だと思えます。
- ・どのチームもプレゼンがとても上手だった。この審査員をして、たくさんの新しい知識をいただきました。また、皆さんの意気込みが素晴らしく感動しました。明日から、さらに頂いた知識を活かし、さらなる努力をしてみたいです。
- ・どのファイナリストもプレゼンが上手でおもしろい取組をされていた。もっと低炭素杯の知名度が上がるような取組をしなければならないと思います。(地域センターとしても)
- ・どれも素晴らしい発表でした。順位を決めるのは心が痛みます。ヒントを頂いて帰れます。これからは環境に配慮した経営取組を心掛けてまいります。
- ・内容が濃く、今年度は企業部門の団体が活躍していた。学生部門でも高い意識・継続された研究の報告があり感心しました。つながり、ひろげる意識のある団体がとても良かったです。外の団体と一緒に地域を活性化するのが、とても大切だと改めて思いました。プレゼンの仕方も、対話形式・劇・まっすぐなプレゼンと色々あり、面白かったです。分かりやすさの工夫が見られました。来年度もより一層の盛り上がりを楽しんでいます。
- ・ファイナリストの方々、いずれもユニークで優れた取組であることはもちろん、工夫をこらしたプレゼンで非常に分かり易かったです。その活動は他地域でも活用可能なものや、一般家庭でも参考になるものもあり、その普及のためには、誰でも分かりやすく、興味を持ってもらう仕組みが不可欠です。その点、プレゼンを重視した低炭素杯は非常に優れた表彰だと思います。今日のYouTube放映など、メディア・SNSと連携し、低炭素杯および応募者の取組がより広く、知られるよう、その普及に引き続きご尽力頂ければと思います。

アンケートより一部抜粋

オーディエンス賞得票上位5団体		
順位	団体名	所在地
1	長崎県立諫早農業高等学校 生物工学部 新エネルギー 研究班	長崎
2	スモリ工業	宮城
3	静岡県立富岳館高等学校 農業クラブ	静岡
4	米子工業高等専門学校B&C 研究同好会	鳥取
5	ファインモーターズスクール	埼玉